

日本語の学校

鴨下信一



美しく豊かな日本語を声に出して読みたい全ての人のために

「日本語の学校」は、演出家・鴨下信一による日本語の多様な表現を深く理解するためのワークショップです。「朗読」という形で日本語を音声化する際に必要な知識を習得するとともに、日本語が持つ豊かさや美しさを感じながら、その本質を明らかにしていきます。今年に向田邦子作『父の詫び状』をテキストに、文章をどのように解釈し、どのような音として表現するのかを実践的に学びます。

●2017年 開催日程 (全6回)

- ① 10/7 (土) 11:00-17:00
- ② 10/8 (日) 11:00-17:00
- ③ 10/14 (土) 11:00-17:00
- ④ 10/15 (日) 11:00-17:00
- ⑤ 10/21 (土) 11:00-17:00
- ⑥ 10/22 (日) 11:00-17:00

●こんな人におすすめです



あうるすぽっと3階会議室B

受講料 16,000円 (全6回分)
 対象 高校生以上の方 (全6回出席できる方)
 募集人数 30名程度

※人数を超えるお申込みがあった場合は申込み内容をもとに、選考させていただきます。
 ※選考の結果は、可否に関わらず郵送にて通知いたします。

申込締切 2017年9月13日 [水]
 申込方法 ①あうるすぽっとホームページのお申し込みフォーム
 ②Fax ※裏面のFaxお申し込み用紙にご記入の上、あうるすぽっとまでご送信ください。

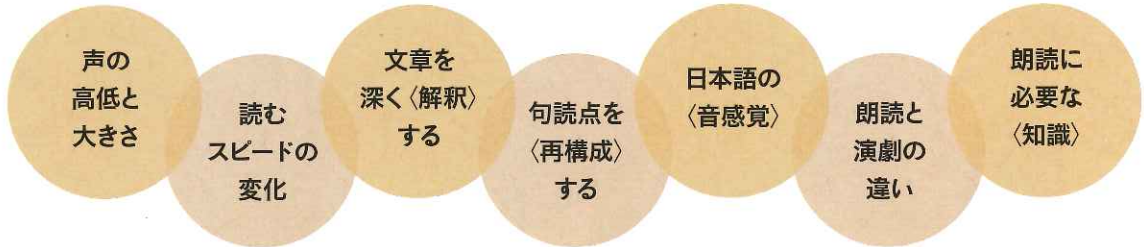
お問い合わせ **あうるすぽっと** (豊島区立舞台芸術交流センター)
 Tel: 03-5391-0751 Fax: 03-5391-0752
<http://www.owlspot.jp/>
 170-0013 東京都豊島区東池袋4-5-2 ライズアリーナビル3F

主催 あうるすぽっと (公益財団法人としま未来文化財団) / 豊島区
 企画制作 あうるすぽっと / 劇書房
 助成 平成29年度文化庁劇場・音楽堂等活性化事業



鴨下信一 日本語の学校

●朗読ワークショップのキーワード



●講師プロフィール



鴨下信一
 1935年東京都生まれ。1958年東京大学美学科卒業後、TBSに入社。その後、数多くのドラマ・音楽番組を演出。主な作品に『岸边のアルバム』『ふぞろいの林檎たち』『高校教師』『渡る世間は鬼ばかり』など。また、舞台の演出家としても評価が高く、特に白石加代子の『百物語』『源氏物語』は朗読を見事な一人芝居に高めた画期的な作品として注目を浴びた。

●会場地図

ライズアリーナビル3F
あうるすぽっと

- ・東京メトロ有楽町線「東池袋駅」6・7番出口より直結
- ・JR他「池袋駅」東口よりグリーン大通り直進 徒歩10分
- ・都電荒川線「東池袋四丁目駅」より徒歩2分

鴨下信一「日本語の学校」Fax申込用紙 ▶ Fax: 03-5391-0752 申込締切: 9/13(水)

ふりがな 名前	性別 男・女	年齢 歳
住所 (〒 -)		
電話番号 - -	Fax番号 - -	
E-mail		
応募の動機		
朗読経験の有無とその内容 (具体的に)		
「日本語の学校」の参加経験の有無 有・無		

※ 申込多数の場合は書類選考を行うため、「応募の動機」や「朗読経験の有無とその内容」については、できる限り詳しくお書きください。